

ホセ・リサール (1998)

JOSE RIZAL

メディア 映画

ジャンル ドラマ 伝記

製作国 フィリピン

時間 178分

初公開日 2001/12/15

公開情報 岩波ホール

【解説】

フィリピン独立運動の指導者であり、35歳の若さで処刑されたホセ・リサール。その劇的な生涯を、独立100周年を記念して映画化した歴史大作で、本国では記録的な大ヒットとなった。監督はフィリピンを代表する女性監督マリルー・ディアス＝アバヤ。日本での本格的なフィリピン映画の公開は本作が初めてとなる。

1861年、フィリピンのラグナ州に生まれたホセ・リサールは幼少の頃から多方面で才能を開花させていたが、マニラ大学で不当な差別を受け、21歳の時にスペインに留学する。その後、世界を旅したりサールはヨーロッパ滞在中に、压制下にある祖国を憂いた小説『我に触れるな』とその続編『反逆』を記した。だがここで描かれたスペイン聖職者や当局の不正は大きな反響を呼ぶだけでなく、権力者から怒りと憎しみをかう結果となった。国家反逆罪といういわれのない烙印を押されたリサールはミンダナオへ流刑された後、マニラの監獄へ送られる……。

【クレジット】

監督	マリルー・ディアス＝アバヤ	
製作	ブッチ・ヒメネス ジミー・デュヴァイト マリルー・ディアス＝アバヤ	
製作総指揮	メナルド・R・ヒメネス ギルベルト・M・デュヴァイト フェリペ・L・ゴゾン	
脚本	リッキー・リー ジュン・ラナ ピーター・オング・リム	Ricky Lee
撮影	ロディー・ラックャブ	
美術	レオ・アバヤ	
衣装	マイク・グウイソン	
編集	ヘス・ナヴァロ マネ・デイリ	
音楽	ノノン・ブエンカミノ	Nonong Buencamino
出演	セサル・モンタノ ハイメ・ファブレガス ジョエル・トレ ガルド・ヴェルソーザ グロリア・ディアス	Cesar Montano Jaime Fabregas Joel Torre シモン／イバラ アンドレス・ボニファシオ テオドラ・アロンゾ

